

果樹・野菜の害虫防除に

# アディオ<sup>®</sup>

## 乳剤

作物いろいろワイドにまもる

ただいま  
登録作物 **70種以上!**

パッケージが  
新しくなりました!

### 適用拡大

[ だいず ]  
ウコンノメイガ

[ ごぼう ]  
ヨトウムシ



### 適用作物・害虫と使用方法

農林水産省登録 第22431号 [有効成分] ペルメトリン・20.0%

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法			
なし	アブラムシ類、シンクイムシ類	2,000~3,000	200~700 ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布			
	ハマキムシ類、カメムシ類	2,000							
もも	シンクイムシ類、アブラムシ類	2,000~3,000							
	モモハマグリガ	2,000~4,000							
かき	カキノヘタムシガ、カメムシ類	2,000~3,000							
	チャノキイロアザミウマ	2,000							
キウイフルーツ	キイロマイコガ	2,000~3,000							
	カメムシ類	2,000							
くり	クリタマバチ	1,000~2,000					羽化脱出期 但し収穫 14日前まで	5回以内	散布
	クリシギソウムシ	2,000							
かんきつ	ミカンハマグリガ、アブラムシ類	2,000~4,000					収穫14日前まで	6回以内	
	チャノキイロアザミウマ	2,000~3,000							
いちじく	アザミウマ類、アブラムシ類	2,000					収穫前日まで	2回以内	
	イチジクヒトリモドキ	3,000							
アロニア はまなす(果実) ざるなし	シンクイムシ類	2,000					収穫14日前まで	2回以内	
キイロマイコガ	2,000								
ネクタリン	カメムシ類	2,000~3,000					収穫7日前まで	3回以内	
	シンクイムシ類、アブラムシ類	2,000~4,000							
きゅうり	モモハマグリガ	2,000~4,000					収穫前日まで	6回以内 [乳剤は 3回以内、 粒剤は 3回以内]	
	オンシツコナジラミ アブラムシ類、ウリハムシ	2,000~3,000							
ズッキーニ	アブラムシ類、フキノメイガ	2,000~3,000	収穫7日前まで	6回以内 [乳剤は 3回以内、 粒剤は 3回以内]					
にがうり	カメムシ類、ヨトウムシ類、タバコカスミカメ	2,000~3,000	収穫前日まで	3回以内					
すいか メロン かぼちゃ いちご	アブラムシ類	2,000	収穫前日まで	5回以内					
ごぼう	ヨトウムシ	2,000~3,000							
だいず	フタスジヒメハムシ、マメハンミョウ ツメクサガ、ウコンノメイガ	3,000	収穫7日前まで	3回以内					
	マメシクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ	24							
うめ	アブラムシ類	3,000	0.8 ℓ/10a	200~700 ℓ/10a	2回以内	散布			
ピーマン	アブラムシ類	2,000~3,000	2回以内						
とうがらし類	タバコガ	2,000	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内				
	アブラムシ類	2,000~3,000							
キャベツ	ネキリムシ類	4,000~8,000	0.5 ℓ/㎡	収穫21日前まで	5回以内	株元灌注			
	タマナギンウワバ アオムシ、コナガ	2,000							
はくさい	アブラムシ類、ヨトウムシ	2,000	収穫7日前まで	5回以内					
	アオムシ、コナガ、ヨトウムシ	2,000							
だいこん	ハイマダラノメイガ、ダイコンサルハムシ	2,000~3,000	収穫30日前まで	4回以内					
	アブラムシ類	2,000~3,000							
莖プロクロー プロクロー カリフラワー	アオムシ	2,000	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布			
	コナガ	2,000							
レタス	アブラムシ類	2,000~3,000	収穫3日前まで	5回以内					
リーフレタス	アブラムシ類、ヨトウムシ	2,000~3,000	収穫7日前まで	2回以内					
トレビス	アブラムシ類	2,000	収穫14日前まで	3回以内					
たまねぎ	ハスモンヨトウ、アザミウマ類、ネギコガ	3,000	収穫7日前まで	5回以内					
ねぎ	アザミウマ類、ネギコガ シロイチモジヨトウ	2,000							

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	総使用回数*	使用方法
にんにく	ネギコガ	2,000~3,000	100~300 ℓ/10a	収穫前日まで	4回以内 [乳剤は 2回以内、 粒剤は 2回以内]	散布
	アブラムシ類					
ハスカップ	ハマキムシ類、アブラムシ類	2,000~3,000	200~700 ℓ/10a	収穫3日前まで	2回以内	
アスパラガス	ジュウシホクピナガハムシ、カメムシ類 ヨトウムシ、アブラムシ類					
さやいんげん	カメムシ類	3,000	100~300 ℓ/10a	収穫14日前まで	3回以内	
豆類 [未成熟、但し、 さやいんげん、 さやえんどう、 未成熟そらまめ を除く]	アザミウマ類、アブラムシ類 ハマグリバエ類、ヨトウムシ類 ウラナミシジミ アズキノメイガ マメシクイガ					
未成熟そらまめ	アブラムシ類	2,000	100~300 ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	
さやえんどう	ナモグリバエ、ヨトウムシ類 ウラナミシジミ					
ほうれんそう	アブラムシ類、ハクサイダニ	4,000	100~300 ℓ/10a	収穫21日前まで	2回以内	
しゅんぎく	アブラムシ類、ハクサイダニ					
しそ	ハスモンヨトウ、アブラムシ類	4,000	100~300 ℓ/10a	収穫5日前まで	4回以内 [乳剤は 2回以内、 粒剤は 2回以内]	
	アザミウマ類、コナジラミ類 ウリハムシモドキ					
オクラ	ハスモンヨトウ	2,000	100~300 ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	
	アブラムシ類、カメムシ類					
トマト	オンシツコナジラミ	2,000~3,000	2,000~3,000	収穫前日まで	1回	
ミニトマト	アブラムシ類					
なす	オンシツコナジラミ、カメムシ類 テントウムシダマシ類	2,000	2,000~3,000	収穫前日まで	3回以内	
	コナガ					
なばな	アブラムシ類、テントウムシダマシ類	2,000~3,000	2,000	収穫14日前まで	4回以内	
ばれいしょ	アブラムシ類					
とうもろこし	アブラムシ類	2,000	2,000~3,000	収穫前日まで	3回以内	
あずき	アズキノメイガ					
やまのいも	アブラムシ類、アザミウマ類、ヤマノイモコガ	2,000~3,000	2,000	収穫7日前まで	5回以内	
さといも	ハスモンヨトウ					
さといも	アブラムシ類、スズメガ類	3,000	2,000	2回以内		
かんしょ	ハスモンヨトウ					
茶	チャノドリヒメヨコバイ チャノホソガ、チャノキイロアザミウマ	2,000~3,000	200~400 ℓ/10a	摘採14日前まで	1回	
そらまめ	アブラムシ類	3,000	2,000~4,000	収穫7日前まで	2回以内	
しろな	アオムシ					
みずな	アブラムシ類、ダイコンハムシ ヤサイゾウムシ	3,000	100~300 ℓ/10a	収穫14日前まで	1回	
つるむらさき	ヨトウムシ					
食用ゆり	アブラムシ類	3,000	2,000	収穫7日前まで	2回以内	
食用亜麻	ヨトウガ					
薬ごぼう	アブラムシ類	3,000	2,000	収穫14日前まで	2回以内	
ごま	アブラムシ類					
はこべ	オオタバコガ	3,000	2,000~4,000	収穫3日前まで	3回以内	
花き類・観葉植物 (はぼたんを除く)	アブラムシ類					
はぼたん	カメムシ類、ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2,000	2,000~4,000	収穫21日前まで	1回	
樹木類 (くちなしを除く)	アオムシ					
くちなし	アブラムシ類	2,000~4,000	200~700 ℓ/10a	発生初期	6回以内	
アブラムシ類	4,000~8,000					
アザミウマ類	2,000	200~700 ℓ/10a	2回以内			

\*印は本剤及びペルメトリンを含む農薬の総使用回数 2019年11月現在の登録内容

### 使用上の注意事項(抜粋)

- 使用量に合わせて薬液を調製し、使いきってください。
- かんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意してください。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布してください。
- 無人航空機による散布に使用する場合は、無人航空機散布の注意を守ってください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、普及指導センター、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当てを

- 受けてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は、農業用マスク、手袋などを着用してください。また、薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。



- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
- ① ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
- ② 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- ③ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。



- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれがある場所では使用しないでください。



- 水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用時にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

ADE1E01A

2019年11月作成(ジェイツ・コンプレックス)



## 三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1 日本橋ダイビルディング  
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>